

宿泊活動における新型コロナウイルス感染の 拡大防止に対応した活動について (対策ガイドライン)

■参加児童において次ページガイドラインを全て理解し実践する事が困難な場合は、以下の「3つのルール」をしっかりと実践できるように各ご家庭でご説明をお願いします。

・乗り物、エスカレーター、階段、トイレなどの後はアルコールで手を消毒しましょう

・声を出す時は必ずマスクを着用しましょう

・お昼ご飯やお菓子を食べる時は、話をせずに食べましょう

次ページ「対策ガイドライン」を全てお読み頂き、感染予防にご協力ください

【具体的な新型コロナ感染症対策ガイドライン 宿泊活動版】

■以下に該当する（または感染が疑われる）場合は**参加はご遠慮ください**。

- ・ 本人および同居者に37.5℃以上の発熱がある場合
- ・ 平熱比+1℃以上の発熱がある場合
- ・ 息苦しさ、倦怠感、咳、喉の痛み等の諸症状がある場合
- ・ その他体調不良の場合
- ・ 過去2週間以内に感染者との接触歴がある、または疑わしい場合
- ・ 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国に訪問したことがある場合
- ・ マスク非着用
- ・ 検温の拒否
- ・ 手指消毒の拒否
- ・ **健康チェック表の非提出**
- ・ **本ガイドラインの内容未確認・不理解**

■宿泊活動特有の環境についての感染予防策について

以下の感染症対策を行います。

- ・ 貸切バスの乗車定員の半分の収容人数による移動
(例：60人定員バス→30人以内で利用＝座席の間隔を1席空ける)
- ・ 貸切バスの常時換気および消毒の徹底（すでに各バス会社によって実施されています）
- ・ 宿泊定員の半分の収容人数による利用（例：1室4名定員の場合→2名定員で1室利用）
- ・ 就寝中のマスク着用を推奨
(兄弟利用／友達同士でマスク非着用希望を申請した場合は例外)
- ・ 食事エリアの3密回避
(例：アクリル板の設置、換気の徹底、収容定員の50%以下利用、黙食の指導)
- ・ 大浴場の3密回避
- ・ 夜間全体プログラムの内容見直し
(室内レクリエーション時の1人当専有面積を16㎡以上とし、常時換気、常時マスク着用、手指洗浄・消毒の徹底・発話を控えた内容)
- ・ その他、宿泊施設、交通機関、利用施設が定める新型コロナウイルス感染症対策を遵守

■参加者の感染予防策について

活動に参加する参加者は以下のことに注意をして参加してください。

- ・常にマスク着用（屋外で、対人距離を2m以上保ち、発話をしない場合を除く）
- ・至近距離で大声での会話を避ける
- ・都度の手指消毒
- ・対人距離を保ち1～2mの距離を確保するよう努力する
- ・参加日14日前からの健康調査票を提出（健康チェック表の提示）
- ・参加時の検温
- ・風邪に似た諸症状が認められる場合は参加を取りやめる
- ・活動中に体調不良となった場合は保護者が現地までお迎えに来る

■各場面における感染予防策について

活動において各場面で以下について注意しながら活動してください。

□集合時

- ・参加者および保護者共々、かならずマスクを着用して集合して下さい
- ・受付時にアルコールによる手指消毒して下さい
- ・受付時に検温を受けて下さい
- ・受付時に当校指定の健康チェック表を提示して下さい
- ・可能な限り1～2mの距離を確保して整列して下さい
- ・極力、発話は慎んで集合・整列して下さい

□交通機関乗車時移動時

- ・かならずマスクを着用して乗車しましょう
- ・乗車中は決まった座席に着座します。席の移動は出来ません
- ・やむを得ず立って乗車が必要な場合において、手すりやつり革を触る際は手指消毒がすむまで目や口・鼻を触らないようにしましょう（
必要な場合はリーダーがつり革・手すりの消毒をします）
- ・発話は控え、必要最低限の内容の会話にしましょう
- ・乗車中は各交通機関が設定するガイドラインに沿って行動してください（職員やリーダーが説明します）
- ・電車・バスなど乗車中の飲食は全面禁止です

□歩行移動時

- ・車や人の往来などがなく安全に歩行できる区間に限り2m程度の距離を保ち、希望する場合はマスクを外してもよい事とします。ただしマスク非着用時は発話しないようにしましょう。（夏期の熱中症および高炭酸ガス血症の予防）
- ・狭い場所での移動や人の往来がある場合は、必ずマスクを着用して歩きましょう

□プログラム中

- ・グループ活動が必要な課題は極力屋外で行いますが、お友達やリーダーなどとの距離が近くなる場合は必ずマスクを着用しましょう
- ・手が汚れたりどこかに触った場合などはしっかり手洗い・手指消毒をしましょう
- ・気温・湿度が高い日の屋外での活動はマスクを外しても構いませんが、その際は発話しないようにしましょう
- ・距離を確保できないプログラムではマスクを着用して大きな声を発しないように注意しましょう
- ・そのほか利用施設が定めるガイドラインに従った利用をしましょう（リーダーや施設の人が説明します）

□飲食時

- ・しっかり手洗いや手指消毒をしてから食べましょう
- ・屋外で食べる際は各自持参のレジャーマット1枚につき1名で利用し、各レジャーシートとの距離は2m以上離して座るようにしましょう
- ・座る時は横並びまたは円座とし、円座の場合は対面者との距離が3m以上とれるように工夫しましょう。
- ・食事をする時は、会話をしないで飲食するように心がけましょう（黙食）
- ・発話が必要な際は口元をタオルなどでおおって、飛沫が飛ばないように注意しましょう

□室内滞在時および就寝時

- ・可能な限り窓を開け、換気を確保してください。
- ・室内にいる際は必ずマスクを着用し、会話は最低限にしましょう。
- ・寝る際は寝具を一定等間隔で並べ、頭と足が互い違いになるように寝てください。
- ・就寝時にもマスク着用を推奨します

□その他

- ・お友達と物の貸し借りはなるべくしないようにしましょう

- ・ 共有して使う備品などは必ず手洗い・手指消毒をしてから使うようにしましょう
- ・ なるべく口・鼻・目などを触らないようにしましょう

□感染予防関連の持ち物について

- ・ マスクは予備も含めて複数枚お持ち下さい
- ・ 除菌シート・アルコールジェルなどを利用したい場合は個別にお持ち下さい
- ・ その他、必要な物（マスクケースなど）は各ご家庭で判断のうえご準備下さい

※アルコール消毒液自体は団体で用意しています

□マスクの廃棄方法

宿泊活動中に私用したマスクを廃棄する（取り替える）際は、マスクの両面をアルコールで消毒し、各自持参したビニール袋に個別に入れ、きつく封をして持ち帰ります

■スタッフの感染予防策について

活動を担当するスタッフについては以下のことに注意をして参加します。

- ・ 感染が疑われる諸症状や行動歴が認められる場合は休み
- ・ （本人および同居者に、37.5℃以上の発熱・平熱比+1℃以上の発熱、息苦しさ・倦怠感・咳・喉の痛み等の諸症状がある、その他体調不良、過去2週間以内に感染者との接触歴および感染拡大地域や国に訪問歴ある場合）
- ・ 常時マスクを着用（集散交通時・活動中など）と定期的な交換 ※熱中症予防時除く
- ・ 集合前の手洗い・手指消毒
- ・ そのほか定期的な手洗い・手指消毒
- ・ 極力1～2mの距離を保った作業に務める
- ・ 至近距離での会話を避ける
- ・ 安全を確保できる状態においては、児童との接触は最低限とし手や顔に触れる場合は消毒のうえ実施
- ・ スタッフ間および児童と会話をする際は必ずマスクを着用し、緊急時を除き大声での発話は控える
- ・ 自宅～集合場所間においても利用施設・機関が定めるガイドラインに沿って感染防止に努めた利用をする
- ・ 日常的な検温

■実施における感染予防策について

以下に注意をして実施に向けた準備を行います。

- ・ 利用する施設や交通機関の定めるガイドラインを遵守
- ・ 適切な感染防止対策をとっている施設の利用
- ・ 可能な限り屋外で活動し、やむを得ず屋内で活動する場合は換気に留意し密にならない場所を選定して利用
- ・ 緊急事態宣言などの政府・自治体からの指示・要請があった場合はその内容に基づき代替え地を選定して運営、または事業の中止を検討
- ・ 上記以外においても当校が安全かつ円滑な活動が困難と判断した場合は活動を中止
- ・ 出発後であっても安全な活動が困難となる可能性があるとは判断した場合は活動を中止して出発地に引き返す
- ・ 極力3密にならない行程管理
- ・ アルコール消毒薬などの感染予防対策品の準備と実施
- ・ 非接触型体温計の準備と実施

以上、感染予防にご協力をお願いいたします